

## 指定管理者候補者の選定結果について

地方自治法の改正により指定管理者制度が導入されたことに伴い、南区産業振興課が所管する新潟市しろね大風呂と歴史の館について、施設の設置目的をより効果的・効率的に達成するため、8月25日より指定管理者を公募しておりましたが、以下のとおり候補者を選定しました。

施設名	新潟市しろね大風呂と歴史の館
所在地	新潟市南区上下諏訪木1770番地1
指定管理者 選定委員会	委員長 高橋 直廣 (南区区長) 委員 山崎 稔 (南区観光協会会長代行) 委員 田村 和雄 (新潟市しろね大風呂と歴史の館名誉館長) 委員 佐藤 弘 (白根風呂合戦協会会長) 委員 渡辺 哲哉 (南区産業振興課課長)
指定管理者 (候補者)	名称 財団法人新潟市開発公社 代表者 理事長 鈴木 広志 住所 新潟市中央区白山浦1丁目613番地69
指定期間 (予定)	平成21年4月1日から平成26年3月31日まで
選定理由	<p>新潟市しろね大風呂と歴史の館の指定管理者候補者の選定にあたっては、3団体から応募があった。</p> <p>平成20年10月17日に選定委員会を開催し、応募3団体のプレゼンテーションと選定委員による事業者へのヒアリングを実施した。</p> <p>その後、施設運営の基本方針、組織・人員配置、集客促進、支出計画書等の評価項目について各委員が採点を行った。</p> <p>その結果、合計点数が上位で、かつ下記の理由により、上記の団体が最適であるとして選定した。</p> <p>新潟市しろね大風呂と歴史の館の管理運営に必要な組織体制や人材の配置に優れ、実現性のある事業計画を提案していること、また、算出根拠のしっかりした支出計画となっており、他団体に比べて総合的に優れていると評価された。</p> <p>なお、上記の委員会で決定された評価項目・評価結果は別表のとおりである。</p>
スケジュール	<p>公募周知・公募要領等の配布 平成20年8月25日～</p> <p>現場説明会 平成20年9月8日</p> <p>公募に関する質疑の締め切り 平成20年9月16日</p> <p>応募書類の受付 平成20年9月29日～9月30日</p> <p>指定管理者選定委員会 平成20年10月17日</p> <p>今後、平成20年12月市議会の議決を経て指定管理者に指定される。</p>
所管部署 (問合せ先)	<p>南区産業振興課 担当者 齋藤</p> <p>TEL：025-373-1000 内線6501</p> <p>E-mail:sangyo.s@city.niigata.lg.jp</p>

## 別紙（評価項目・評価結果）

評価項目		配点	候補者	A社	B社
応募団体の評価	経営基盤・財政状況について	5	4.4	3.6	3.6
施設運営の基本方針	施設の設置目的を踏まえた基本方針について	10	8.4	7.2	7.2
観覧者等の集客促進に向けた計画	指定期間である5年間の各年度の集客目標と集客対策の具体的な計画について	10	9.2	6.8	7.2
経費の節減などの効率的な施設の管理運営方針	人員経費や施設維持管理経費などについて、経費節減する上で有効となる方策について	10	8.4	8.0	6.8
安定的な施設運営を実施する体制	必要人材の配置と人材育成の方策について	5	4.4	3.8	3.6
	専門知識を有する人材を活用する方針について	5	4.2	3.6	3.2
	地域の人材を活用する方針について	5	4.0	3.4	3.2
観覧者等の平等・公平使用を確保する計画	障がい者や高齢者などへの配慮について	5	4.2	3.6	4.2
	関係団体が施設を使用するに当たり平等・公平な取扱い方針について	5	4.2	3.2	3.6
施設の安全管理	観覧者等が、安心・安全に観覧できるような方策について	5	3.8	3.8	4.2
	緊急時に即応した指揮命令系統について	5	4.0	3.6	4.0
	展示品の盗難防止等の具体的な警備体制について	5	3.4	3.6	3.8
ボランティアスタッフや関係団体との連携	ボランティアスタッフの活用と育成方針について	5	4.0	3.6	3.2
	利用団体や関係団体と連携する方針について	5	4.0	3.8	3.4
その他、良好な施設の管理運営に関し有効な提案		5	4.2	4.0	3.2
収支計画	予算の範囲内での適正な執行を行い、長期的な施設運営を可能とする収支計画について	10	8.4	6.8	6.4
合計		100	83.2	72.4	70.8

新潟市しろね大風呂と歴史の館指定管理者事業計画の比較(上位3者)

南区産業振興課

評価項目	財団法人新潟市開発公社(選定者)	次 点	次 々 点
1. 事業者の概要	<p>事業者構成 代表者 財団法人新潟市開発公社(理事長 鈴木広志) 設立 S39.11.13 資産総額 226千円 売上高 2,709,502千円(20年3月末) 事業内容 公共施設の維持管理・運営 緑化の推進及び緑地の保全他 施設管理実績 指定管理者 旧新潟市所在体育施設(18年4月～), 新潟市水族館(18年4月～), 他</p>	<p>事業者構成 代表者 代表取締役社長 鈴木勝彦 設立 S54.9.20 資本金 1千万円 売上高 247,748千円(19年8月末) 事業内容 ビル清掃及び管理の請負又は代行 警備業の請負又は代行 施設管理実績 設備運転業務・受付案内業務他(新潟市黒崎市民会館), 設備運転業務・受付案内業務他(新潟市西新潟市民会館)他</p>	<p>事業者構成 代表者 代表取締役 村上聖一 設立 S46.1.28 資本金 2千万円 売上高 818,949千円(19年12月末) 事業内容 在宅介護事業, ビルメンテナンス事業, 警備業 他 施設管理実績 日帰り入浴, 健康増進センター, 室内体育館(長岡市ロングライフセンター)</p>
2. 経営理念	<p>みどり豊で潤いに満ち, 安心・安全で利便性の高い都市空間の形成。行政補完的機能の役割を確立し行政と共生, 強調した事業推進。運営の透明性, 信頼性を高め, 経営健全化を推進。</p>	<p>快適な環境づくりをモットーとする我社として観覧者及び市民ニーズに応えることができるサービスの向上と施設の有効利用実現を目指す。</p>	<p>人から喜ばれる, 「ありがとう」とお客様から言われるよう, 全ての基本に立ち返った仕事を職員に浸透させ, 企業価値を高める。</p>
3. 指定管理者申請の動機	<p>指定管理者制度の導入でサービス競争の結果, サービス向上や経費削減等の結果ができることは喜ばしい。ただ, 経営不振や手抜き運営など不祥事等に起因した撤退や取消事例も増え, 公共サービスの根幹である継続性の大きな脅威となっている。適正な指定管理者としてあるべき姿を追求し, その成果を織り込んで提案します。</p>	<p>白根地域の文化と歴史について, より多くの学校教育の一環として, 指導して頂ける様, 詩の教育委員会に働きかけ, 大風呂と地域の歴史文化の伝統に役立てたい。</p>	<p>当社は, ビルメンテナンス部と在宅介護部の両事業部とも南区で活動を行っており, 既存のお客様・利用者様があり, その営業活動の中で当館の利用促進に向けたPRに特別に経費は掛からないと考える。老人施設へのレクリエーションの提案など得意としており, 全社を挙げて当館の集客に寄与できる。</p>
4. 事業計画 (1) 観覧者等の集客促進に向けた計画 (2) 経費節減の工夫 (3) 必要人材と人材育成 (4) 施設の安全管理 (5) ボランティアスタッフや関係団体との連携 (6) 入館者数(見込)	<p>(1) 来館された全ての方々に快適な空間で充実した時間を過ごしていただける様, ホスピタリティーの精神を基に「おもてなしの心」を持って迎える。小中学校へのPR, 各種団体との連携, 観光会社への積極的に働きかけ, 観光会社手配の入館者の増加を図る。 (2) 原油価格高騰などグローバル経済の不透明化などが施設利用の減退や運営コストアップに及ぼす影響を留意しながら, ムダ, ムラ, ムリのないマネジメントによりコスト管理の徹底を図る。ファシリティマネジメントに基づいてコスト低減と信頼性の高い優れた維持管理の徹底・施設価値の劣化と環境負荷に留意した最適な修繕計画をたて, 地球環境にやさしいエコロジカルな施設づくりを進める。 (3) 館長は, 文化や歴史にも理解があり, 施設管理について専門的な知識を有し, スタッフ教育や事務処理能力に長け, 風呂の普及実績もあり施設運営実績がある業務経験豊富な人材を配置します。施設管理に最も重要な「安全性・公共性」にかかわる事項については, 全てのスタッフが共通理解できるよう研修し, 「利便性・快適性」「専門性・特殊性」へと発展させます。 (4) 安全管理マニュアルにおいて, 始業前・定期点検を実施し, 「チェックシート」を使用し, 異常の早期発見に役立て, 定時に行う敷地内外の巡回で, 「聞く・見る・話す」という基本行動を確実に実行する。 (5) ボランティアスタッフによる「風呂作り教室」で見ただけではなく「体験」へ繋がる教室の開催。関係団体との意見交換会を年1回以上開催する。 (6) 30,000人, 7,736,000円</p>	<p>(1) 市広報誌, タウン情報誌等を利用した広報活動。 定期的な展示後進によるリピーターの確保。小学校等へのPR, 旅行代理店との連携の強化などで団体客の入館者増加を図る。 (2) 必要最低限で最も効率的な人員配置を考え, 本部と施設の仕事を2分化することにより, 施設での余分な仕事の軽減を図る事により, 人件費の削減を図る。 クールビズ・ウォームビズの実施で職員は当然のこと, 利用者にも徹底を図ることにより, 館内温度の調整をし, 光熱費削減に努め, エネルギー(水道光熱費)が常に比較検討できるように, データ収集を行い, エネルギー削減に努める。 (3) 白根地域の情勢に精通している人材を館長及び館長補佐に選任し, 風呂の歴史や知識のある人材を中心とし, 知識等の少ない職員やボランティアに対し歴史や知識を定期的に市道教育することにより, 将来的に円滑な運営や, 歴史を後世に伝えることができる人材を育成するように努める。 (4) 職員が日常的に防災対策, 不審者, 不審物の有無, 設備機器の目視点検等を実施, 日常的な安全確保・トラブル防止に努め, 防災設備の定期点検やマニュアルの周知・徹底, 防災訓練を実施します。 (5) 関係ボランティア団体等との関係を密にし, それらの団体が持っている知識・経験・ノウハウ・人材を活用しつつ本施設における利用の多様化及び活性化を図れるように努める。 (6) 24,000人, 6,288,000円</p>	<p>(1) 風呂合戦と風呂作り, 越後の温泉を家族で楽しめるようなPRを拡大します。新潟市の南区以外の学校, 保育園等へも積極的にPRを行う。入館者からの提言やクレームを大事にし, 即時対応で入館者促進につなげる。また, 旅行者への広報活動を拡大する。 (2) ビルメンテナンス業のノウハウを活かし, 高品質低価格な施設管理を行い光熱水費等管理経費の削減を行えるよう, 継続して分析を行う。 エネルギー費用は, 下がることは無いと考えられる時代であり, 利用者数を増加させる中で, 管理経費は据え置けるよう目標を立て, 職員への経費削減意識の教育が一番重要と考える。 (3) 業務責任者を明確に位置づけ, 効率的かつ合理的な管理運営を構築し指揮命令系統の一元化を図り, 個別業務間の連携を迅速かつ円滑に行うため, 業務融合によるフラット化を行い, 情報の一元管理を行う。 (4) 施設においては管理員を含め全職員で随時巡回を行い, 事故の発生を未然に防ぎます。また, 警備診断を行い危険箇所等の有無を確認し施設職員に指導します。マニュアルを作成し, 入館者の安全確保を最優先にします。 (5) 大風呂合戦やその他イベント等に障害者, 高齢者はもちろん, 団体の施設利用時等に地元ボランティアの協力をいただき参加者への地元色豊かなサービスを展開して行きます。 (6) 30,000人</p>
5. 支出計画	<p>人件費 13,778 管理費 29,895 計 43,673千円</p>	<p>人件費 24,844 管理費 16,651 計 41,495千円</p>	<p>人件費 18,301 管理費 18,390 計 36,691千円</p>
6. 組織・人員体制	<p>(常勤) 館長 1名 プロパー 1名 嘱託 1名 臨時 1名 受付・設備員・清掃員(別途委託料)</p>	<p>(常勤) 館長 1名 館長補佐 1名 事務職員(社員)(パート) 2名 清掃員 1名 受付 2名 設備員 1名</p>	<p>(常勤) 館長 1名 副館長 1名 受付・事務員(兼務する) 2名 清掃員 1名 設備員(別途委託料) (非常勤) ヘルプデスク</p>

「A3縦」で印刷することを想定していますので, 適宜調整してください。